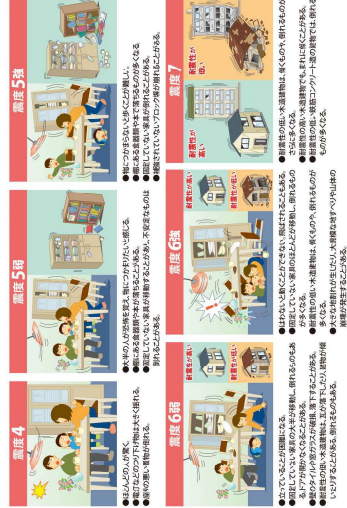


地震・津波について 知ろう

震度と揺れ等の状況

南海トラフ7.0大規模地震発生したとき、田辺市は最大震度7が予想されています。



津波に関する警報と注意報

津波による被害の発生が予想される場合は、気象庁より「大津波警報」「津波注意報」が発表されます。

津波の規模	津波の高さ	津波の速さ	津波の周期
大津波警報	10m以上(津波の高さ)	100km/h以上(津波の速さ)	5分以内(津波の周期)
津波注意報	3m以上(津波の高さ)	30km/h以上(津波の速さ)	10分以上(津波の周期)
津波注意報	1m以上(津波の高さ)	10km/h以上(津波の速さ)	10分以上(津波の周期)

一人ひとりが行う 自分自身の防災活動

自助・共助・公助

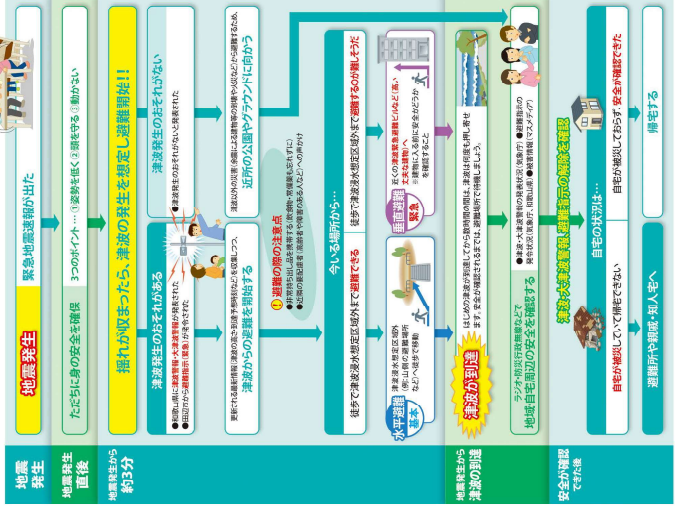
防災・減災のキーワードとして、「自助」「共助」「公助」という言葉がよく使われます。自助とは「自分の身は自分で守る」と、共助とは「家族・近所や近所と協力して助け合いの活動をすること」を指します。また、公助とは「公的機関からの援助や支援」を指しています。災害の発生を完全に予見し、防ぐことはできませんが、自助・共助・公助が連携し、効果的に機能することで、被害を減らすことが可能となります。



今すぐできる地震対策



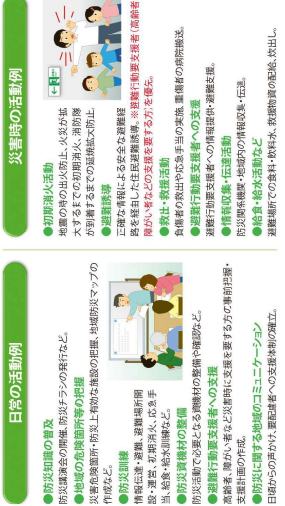
地震・津波から 身を守るポイント



みんなで助け合う 地域の防災活動

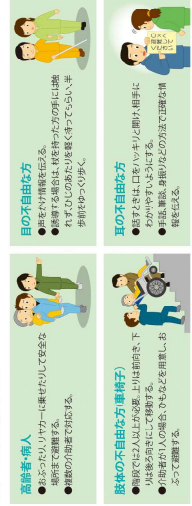
自主防災組織の役割

自主防災組織とは、「自分たちの身は自分で守る」という、地域住民の連帯に基づき、結成される防災組織のことです。自主防災組織は、災害発生時に、お互いの身を守るため、平時からの防災活動のために防災活動を行います。ときには、地域住民が一人ひとりが防災活動に参加し、知識を共有し、各家庭で災害に備えることが重要です。



避難行動要支援者の手助けをしましょう

避難行動要支援者とは、一時的に高齢者や障がい者、乳幼児や妊婦、日本語を十分理解できない外国人など、災害発生時の避難に困難が生じるおそれがある方々を指します。地域で協力し合いながら、近所の要支援者の防災意識や避難場所への避難を手助けしましょう。



マイマップを作ろう 避難経路を想定して

地域は、一つ一つの街や町、あるいは一軒一軒の建物や施設が密集している。地震や津波が起きた場合、家族みんなの避難先（集合場所、公園など）を事前に決めておくことが、避難活動の円滑化に役立ちます。また、家族の避難経路マップは、自分が避難する場合に役立つ避難情報を知り、より具体的な避難行動のイメージが湧くようにしておきましょう。



日常からの備えが大切 非常持ち出し品・連絡方法など

非常持ち出し品とは、すでに準備が完了している、すぐに避難しなくても構いません。避難する場合に備えて、リュックやバックなどに必需品をまとめ、持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。



明洋・元町洋団地 地区 における主な避難場所と避難経路

